

早川小学校4年1組

こんな防災対さく

学校を新しく建て直し、がけを固めると、がけの近くに住んでる人が安心して、くらすと思います。あと、海の近くに、家を建てなければ津波からも、逃げられます。そんな防災に、強い市が、いいです。みなさんもぜひ、考えてみてください。

地しんと、つ波の対さく☆

ぼうさいに強い、小田原市にするために、地しんに強く、つなみ用に、高いたて物を、そのたて物におく。民家に、防災バッグをくばって、より防災たいさくをし、みんなが安心して生きる。

小田原の未来

防災に強い小田原にするため、避難場所の点検や避難訓練を毎日やったり岩を固めたりしたら、地震がいつ来ても避難訓練みたいに、自分の身を守って安心して、避難場所に行けます。こんな安心が出来る小田原でありたいです！

小田原市のぼうさい対さくをつよくするには？

小田原市のぼうさい対さくをつよくするにはうみのところに大きいかべをつくる。あと、ちかつうろをつくったらいいとおもいます。りゆうはうみのなみのつなみがきたらまちやうみのちかくのいえの人がながされるからそうおもいました。

小田原の未来

私は、防災に強い小田原で安心してくらすために毎日地域の人と協力して、防災訓練をしましょう。そうすれば地震がきた時にすぐ避難できると思いました。訓練をする時間は2時間で授業がへる部分は授業をふやします。

ぼうさいに強い小田原市にするには

ひなん場所をふやす。地下室を作る。理由は、ひなん場所を作ればみんなが安心してすごせるから避難場所をふやしたほうがいいと思います。地下室を作れば、避難場所より先ににげられるからです。

未来

防災に強い小田原で安心してくらすためには、かべを作ったらいいと思います。理由は、たてたらつ波がくるおそれもないからです。でも船は、どうするかという大きなドアを作り広い海に出れるようにしたいです。

安全にくらすためには！

小田原市で安全にくらすためには避難場所をふやしたいです。ふやすと人口がふえても大丈夫です。また全部の場所が満員だったら避難場所が見つからなくて、命を落とすかもしれないから避難場所をふやすと小田原市に人が集まります。

未来の小田原

小田原のいい所をのこしつつ、小田原を安全な町にしたいです。防災に強い小田原市にするには、まずひなん所をふやしたらいいと思います。理由は、コロナが続いているから人ときよるを取る場所を作ったらいいと思います。

小田原で生き抜くために

防災に強い小田原で安心してくらすためには地下の町を作る。いざ地震が起きても地下の町に行けば安心安全です。地震がすぎるまで地下にいればケガ人が少なくなります。また海の近くに家を建てるのは危険なので建てるのをやめましょう。

今と別世界の2030年の小田原

防災に強い小田原にしたいです。地震にそなえるためには、津波に飲みこまれないように海の近くに家を建てない。地震は、いつくるか分かりません。なので音が鳴るアプリをつくらればひなんが速くなると思います。

安心安全がいっぱい

僕は、防災に強い小田原にするために避難所をふやしたいです。理由は、津波や地震がきても海側の人達は、いざという時に、避難所に安心して行けるからいいと思います。あと海側じゃない人でも安心して避難所に行けると思います。

津波や地震に強くなる小田原

小田原は、自然がいっぱいあります。だから自然をこわさないように災害に強い家を建てるのがいいです。もう一つは、防災対さくバッグです。各家庭に配って全員が、命を守れるようにしたいです。

自分が考える小田原

未来の小田原の安全は津波の高さは今、8mほどで、9年後には10mを超えと思うので15mほどの壁を立てる。地震時は、ひごろから防災バッグをじゅんびして防災にそなえる。自分が考える小田原になってほしいです。

壁をたてれば！

防災対策を強化するには、海、山、森に壁をつけたいです。地震が起きた時、土砂崩れや津波が起きて壁で押さえられるから安心できます。もし、海や、山にも、行きたい人がいるなら、壁に、窓やドアをつければ、安心できます。

災害に強い小田原市

ぼくたちが安心して小田原市に住むためには、地下トンネルを作ります。つなみがきたときには、やまや高台にのぼれないお年よりが安全にひなんできます。災害に強くしてたくさんの方がすめる小田原市にしたいです。

小田原を災害から守る

ぼくは、防災に強い小田原にするには、地震や津波に強い建物を作ったり、ドアがあるかべを作ればいいと思います。理由は、強い建物を作れば、安心できる。ドアつきのかべを作ったら、津波の心配がないからです。

未来の小田原

防災に強い小田原で安心してくらすためには各家庭に防災バッグがあったらいいと思います。理由はいつ地震が起きてもいいようにじゅんびしてあったら、だれかにたよらず、自分の身を守ることができるからです。

早川小学校4年1組

将来、小田原をゆたかにするために

防災に強い小田原で安心してくらすためには週に一回くらい近所の人たちと一緒に山へ登る練習をしたらいいと思いました。お金もかからないし、環境に問題もでないからです。自分だけでなく周りの人にも役立つとうれしいです。

小田原の10年後

私は地しん体けんしせつを作ればいいと思います。理由は、体けんしせつがあれば地しんはこんなにゆれるということが分かって防災バッグとかを用意する人がふえると思います。それでいざ地しんがきてもすぐにひなんできるからです。

学校を新しくする

ぼくは、防災につよい学校にした方がいいです。理由は、学校をたてなおしたらみんなが通っている学校を地しんに強くすればみんなが生きのこれていいと思うし先生とかもみんな安心できるからいいと思いました。

未来の小田原！

防災に強い小田原で安心してくらすためには地震情報アプリをみんな使えばいいと思います。スマホを持っていない人は周りの物に放送器具を取りつけばいいと思います。近所の人がもし使っていたら点検のやり方を教えてあげたいです。